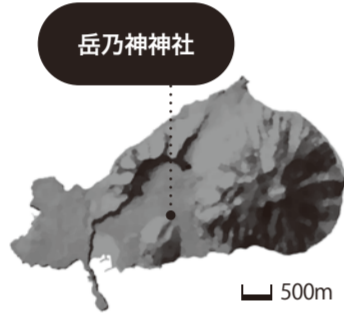




12



硫黄島地区四〇代男性

思い出話

「実は子供の頃は苦手な祭りでした。長く歩くと話せない。墨塗りの顔は乾いてつっぱる。後でお菓子がもらえても苦手でした。」

熊野神社に着くと③社前で輪になって時計回りに三度回る。①そして枝を下に向け神様を降ろして神事は終わる。なお、現在は小中学校に通う男子が主に参加する。年齢による墨の塗りわけは途絶えている。

当日、二〜八歳までの子は墨で目の周りに円を、①九〜十三歳までは顔全体に墨を塗る。まぶたがひとえの子は円を二つ、ふたえの子は二重に描く。次に②岳乃神社をお参りし、付近で刈ったヒサカキの枝を手に熊野神社へ向かう。枝をもった子は話をしてはならない。また枝には神様が乗っているの、下に向けたり転んではならない。道中、他の神様を四度横切る。その度に案内役が太鼓で合図して子供たちは「わがむれ(村)こそよたのしむれなんやれ」と唱える。

硫黄島の霜月祭
旧暦十一月五日の祭。硫黄島では主に十三歳以下の男児が、稲村岳麓の岳乃神(たけんかん)神社から集落の熊野神社まで、神様をお連れする。

硫黄島

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1	2	3	4 ● 新月
5 ●	6 ●	7 ●	8 ●	9 ●	10 ●	11 ● 上弦
12 ○	13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18 ○
19 ○ 満月	20 ○	21 ○	22 ○	23 ○	24 ○	25 ○
26 ●	27 ● 下弦	28 ●	29 ●	30 ●	31 ●	1